

特別賞

有限会社ユニテック

<p>名 称</p>	<p>汚泥減容化装置 “鬼退治” (オゾン処理法)</p>
<p>概 要</p>	<p>汚泥減容化装置は、生物による汚水の浄化施設より出る生物汚泥の処理装置です。本減容化では、殺菌効果の高いオゾンを用います。</p> <p>※減容化・・・容積を減らすこと</p> <p>水処理の専門家の間では、従来、汚泥の処理にはオゾンは非常に有効だが、ランニングコストが高額になる上に、廃オゾン処理が必要になるため、導入コストも含め負担が大きいとされてきました。</p> <p>この点、当社は、独自開発で特許取得済みの静止型混合器（商品名：シャーディス）を利用してオゾンガスを完全に水に溶解する技術を確認しました。</p> <p>当社の装置は、静止型混合器の性能が特徴です。ミキサー内部にフィン（特殊な形状の羽根）を取り付け、オゾン混じりの処理水を圧送することで、急速に攪拌し、完全にオゾンは酸化反応してしまうため、オゾンの回収設備が不要となり、導入コストの低減がはかれます。また、従来詰まりやすかった配管が目詰まりの生じにくい形状となり、安定した運用を可能としておりランニングコストも抑えることができます。</p> <p>群馬工業高等専門学校物質工学科の協力の下、数年に渡り重ねた実験においても、一度も廃オゾンがでたことはありませんでした。</p> <p>汚泥の平均減容化率は70～75%位となるが、公共の下水道なら、減容化した汚水ともども曝気（ばっき）槽に微生物の餌として戻すことにより、汚泥の施設外持ち出しをほぼゼロにすることも可能となります。また、民間についても、容積負荷や施設の機器内容などの検討により、汚泥の持ち出しゼロも可能となります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="323 1308 807 1615"> </div> <div data-bbox="903 1308 1386 1615"> </div> </div> <p style="text-align: center;">福島県須賀川市季の郷污水处理場の 余剰汚泥減容化実験結果</p> <p style="text-align: center;">汚泥減容化装置による減容化実験 2007.9.5</p>
<p>用途</p>	<p>生物による汚水の浄化施設全て</p>

<p>所在地</p>	<p>埼玉県春日部市中央1-57-12-602</p>		
<p>電 話</p>	<p>048-736-3434</p>	<p>F A X</p>	<p>048-736-3434</p>
<p>U R L</p>	<p>—</p>		